

平成 22 年 7 月 21 日

金融商品専門委員会
ディスカッション・ポイント

- 金融商品専門委員会では、金融商品会計に関する現行基準の見直し作業を進めており、分類及び測定に関する検討状況の整理の公表を目指している。
- 本日の第 206 回企業会計基準委員会では、審議事項（ 1 ） - 2 について、前回委員会の審議等を受けて主として次の変更を加えているため、その点を中心にご確認いただきたい（修正箇所は履歴にて明示）。

- コメント提出者への質問を追加した。質問は網羅的とせず、我が国固有の状況を踏まえた場合に、特に重要と考えられる事項に絞った。
- 払込資本を増加させる可能性のある部分を含む複合金融商品についての取得者側の取扱いを修正し、会計基準（案）にて取り扱うこととした。転換社債型新株予約権付社債は一体として、それ以外の新株予約権付社債は分離して処理することが考えられるとした。
- 付録として、我が国の現行の会計基準、IFRS 第 9 号、FASB の提案モデルの比較を添付した。

以上